

2007 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">教職研究</p>	<p>対象学科・学年 文学部全学科 3 回生 人間全学科 3 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">三宅 奎介</p>
<p>授業テーマ 教職への志向を高揚する。 これからの教員に求められる資質能力を培う。</p>		
<p>授業の概要と目標 教育職員養成過程において体得すべき教員の資質と能力は、専門職としての教職に対する愛着と誇りを根底にして、感性によって支えられた知識・技能の総体である。本講座では学校が抱える諸問題や学校改革の課題を中心に学力の捉え方や授業づくり、人権教育の課題等の内容で授業を進める。他の教職教科とも連動させ、研究を進める中で、受講者が教員としての資質や能力を向上させ、合わせて教育活動に対する意欲を培うことを授業の目標とする。</p>		
<p>評価方法 授業目的の到達度の判断として ①課題ごとのレポート 1 ページ (A4 版) 程度 (40%) ②期末試験 (50%) ③授業態度 (10%) を基準に総合的に決定する。</p>		
<p>テキスト なし</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書 毎回、レジュメを配布する。 適宜、参考図書を紹介する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>第1講 「教職研究」で何を学習するのか ・この授業は大学で必要か ・教職の意義</p> <p>第2講 教員の資質が問われている！ ・教員に求められる資質とは ・教員の仕事とサービス</p> <p>第3講 子どもの持つ学力とは何を指すのか ・学力についての理解 ・学習指導要領の変遷</p> <p>第4講 「PIISA 学力」から日本の子どもの学力を問う ・「確かな学力」とは ・国際学力到達度調査</p> <p>第5講 楽しい授業・わかる授業をどうつくるか ・授業の構成 ・指導案の作成</p> <p>第6講 子どもに考えさせる授業をどうつくるか ・学習指導要領 ・教科書の見方</p> <p>第7講 今、いじめが問題だ。不登校の実態は？ ・学校の対策事例 ・教育行政の資料</p> <p>第8講 実践アクセス講義 適応指導教室って何？ (ゲストティーチャー授業) ・学校支援 ・子どもの気持ち</p> <p>第9講 子ども同士の人間関係をどう結んでいくか ・セルフエスティームの育成 ・新しい人権教育</p> <p>第10講 子どもの心にどう寄り添うか ・「先生、人間、やめようか」 ・人権教育読本「にんげん」</p> <p>第11講 子どもは夢と希望をどうサポートしたらいいのか ・進路指導の見直し ・キャリア教育</p> <p>第12講 なぜ、今地域との連携が必要か ・「おらが学校、地域の子ども」 ・学校評議員</p> <p>第13講 実践アクセス講義 楽しい学校をどうやってつくっているか (ゲストティーチャー授業) ・生徒指導やクラブ活動 ・学級づくり</p> <p>第14講 職場の協力がやる気を育てる！ ・開かれた学校の組織体制 ・教員の悩みと不満</p> <p>第15講 定期試験</p>		